『だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現』をめざして



ボランティア・市民活動フェスティバル2015





Contents

- 茨城県社協トピックス
- ·平成26年度県社協事業報告 決算
- ・福祉サービス第三者評価事業 ほか
- 茨城県社協特集

安心して暮らせる社会への挑戦

- 研修・就職情報
- ・キャリアパスセミナーのご案内
- ・子育て支援員研修はじまります ほか

地域福祉活動レポート NPO法人里山を守る会(筑西市) 社協職員リレーエッセイ

土浦市社会福祉協議会 飯村さん がなの手で地域をつってが



information

わかち合おう小さな善意

はんどちゃんの紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラ クターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福 祉協議会を中心に活躍しています。





於 禁急福祉 茨城県社会福祉協議会

はんどちゃん

この広報誌は一部赤い羽根共同募金の配分を受けています。

茨城県社協トピックス

• 平成 26 年度 茨城県社協事業報告

甚大な被害をもたらした東日本大震災の発生から4年が経ち、現在も復旧・復興に向けた取り組みが続けられていま すが、この東日本大震災においては、人と人との「絆」の大切さが再認識された。古来より、日本では地縁、血縁など「え にし」を大切に考え、「向こう三軒両隣」の関係が作られ、お互いが支え合い・助け合う相互扶助が日常的に行われてき ました。人と人との関係が希薄になりつつある現代社会においてこそ、災害対応ばかりでなく、多様な生活・福祉課題 に対応するため、絆を大切にし、みんなで助け合い、お互いが信頼し合える地域社会づくりを進める必要があります。

また、経済・雇用情勢については、安倍内閣の進める経済政策により改善を示す動きも見られますが、急速な少子高 齢化が進行しており、社会保障費は増大し続け、そのため税と社会 保障の一体改革等に基づき、医療や介護、福祉の各分野で新しい仕 組みが検討され、実施されてきています。

このような中、本県においても支え合い・助け合いによる地域づ くり、生活困窮者の自立支援、福祉・介護分野の人材確保、高齢者 の生きがいづくり等の対策が求められています。

本会としては、行政、市町村社会福祉協議会をはじめ、社会福祉 関係機関・団体等とさらなる連携強化を図りながら、これらの対策 を円滑に進め「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会 の実現」のため、社会的使命を果たしていく必要があります。

このため、第4次地域福祉活動推進プランに基づき、住民主体の 支え合い活動であるサロン活動の普及促進、フェスティバル開催等 によるボランティア・市民活動の支援、就職相談会や研修の実施等 による福祉・介護分野の人材確保・育成、生活資金貸付等による生 活困窮者支援、日常生活に支障のある方の自立支援、苦情解決相談 やサービス評価による福祉サービスの向上、ねんりんスポーツ大会 開催等による高齢者の健康・生きがいづくりなどに取り組みました。

第 4 次茨城県地域福祉活動推進プラン 重点目標

1 支え合う福祉(住民参加と福祉コミュニティづくりの推進)

- (1) 住民参加によるまちづくりの支援
- (2) ボランティア・市民活動への支援
- (3) はつらつと社会参加できる環境づくり

2 安心して利用できる福祉(福祉サービス利用者への支援)

- (1) 日常生活自立支援事業の充実
- (2) 苦情解決事業の推進
- (3) 第三者評価事業及び外部評価事業の推進
- (4) 効果的な情報発信と提供
- (5) 低所得世帯等の自立支援

3 質の高い福祉と協働する福祉 (社会福祉事業の充実・活性化への支援)

- (1) 福祉人材の確保と就労の促進
- (2) 福祉・介護人材確保のための緊急支援
- (3) 福祉人材の養成と質の向上
- (4) 社会福祉施設地域貢献活動支援事業
- (5) 民間社会福祉施設職員等退職手当支給事業の運営

4 きり開く福祉(新たな課題への対応)

(1) 生活困窮者自立支援法施行に向けての対応

5 前進する県社協(県社協の組織の充実)

(1) 法人組織の充実と事務局体制の整備

平成 26 年度決算報告

【収入の部(冴昇額:円)】	
勘定科目	決 算
会費収入	22,155,500
寄付金収入	8,252,358
経常経費補助金収入	324,292,188
受託金収入	475,494,396
貸付事業収入	10,056,848
事業収入	650,573,136
負担金収入	13,026,000
受取利息配当金収入	138,166,670
その他の収入	1,048,377
投資有価証券売却収入	30,000
積立資産取崩収入	249,271,303
生活福祉資金会計繰入金収入	534,600
事業区分間繰入金収入	6,793,314
拠点区分間繰入金収入	9,329,573
サービス区分間繰入金収入	18,508,436
その他の活動による収入	2,042,160
前期末支払資金残高	63,430,641
合 計	1,993,005,500

【士山の郊 (油質好・田)】

【文出の部(沃昇額・円)】	
勘定科目	決 算
人件費支出	259,999,464
事業費支出	866,117,011
事務費支出	16,400,371
貸付事業支出	26,020,920
分担金支出	1,398,000
助成金支出	135,044,663
負担金支出	8,272,240
その他の支出	136,560
固定資産取得支出	1,097,388
基金積立資産支出	2,838,000
積立資産支出	570,765,949
事業区分間繰入金支出	6,793,314
拠点区分間繰入金支出	9,329,573
サービス区分間繰入金支出	18,508,436
その他の活動による支出	7,685,160
当期末支払資金残高	62,598,451
合 計	1,993,005,500





福祉、茨城県社協の事業に関する最新情報をお届けします!

• 受審しましょう! ~福祉サービスの質の向上に向けて~

福祉サービス提供者は、常に利用者の立場に立って良質かつ適切な福祉サービスの提供に努める必要があります。 そのため、茨城県社会福祉協議会では、福祉サービスの質について公正かつ中立な評価を行い、サービス提供者の福祉サービスの質の向上に対する取り組みを支援するとともに、評価結果を公表することにより、利用者がより適切に福祉サービスを選択できるよう、福祉サービス第三者評価事業及び、指定認知症対応型共同生活介護等外部評価事業を推

進しております。

注1) 福祉サービス第三者評価事業対象事業所

保育所、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、児童養護施設、乳児院、情緒障害児短期治療施設、 児童自立支援施設、母子生活支援施設

注2) 指定認知症対応型共同生活介護等外部評価事業対象事業所 指定認知症対応型共同生活介護事業所 (グループホーム)、指定小規模多機能型居宅介護事業所

間 福祉事業部 TEL: 029-241-1133 代

• 生活福祉資金貸付制度が変わりました

平成27年度から施行された生活困窮者自立支援制度と密な連携を取るため、生活福祉資金貸付制度の内容が見直されました。

○自立相談支援事業の利用の要件化(総合支援資金・緊急小口資金)

総合支援資金及び緊急小口資金の貸付にあたっては、原則として生活困窮者自立支援制度の必須事業に位置付けられる自立相談支援事業の利用が要件となりました。

○貸付期間の変更(総合支援資金)

平成 26 年度まで 12 ヶ月以内 ⇒ 平成 27 年度以降 原則 3 月・就職活動の状況に応じ最大 12 ヶ月

○貸付事由の拡大 (緊急小口資金)

緊急的に支援が必要な場合における公共料金の滞納分や、法に基づく支援を継続的に受けるため に必要な経費について、貸付の対象となりました。

○償還期間の改正(総合支援資金・緊急小口資金)

【総合支援資金】 平成 26 年度まで 20 年以内 ⇒ 平成 27 年度以降 10 年 以 内 【緊急小口資金】 平成 26 年度まで 8 ヶ月以内 ⇒ 平成 27 年度以降 12 ヶ月以内

間 生活支援部 TEL: 029-241-1133 代



• ボランティア・市民活動フェスティバル2015が開催されました!

茨城県社会福祉協議会と常磐大学の包括連携協定に基づき、茨城県社会福祉協議会・常磐大学の共催により、8月20日(木) 常磐大学にて「ボランティア・市民活動フェスティバル〜安心した地域生活を送るために"ワタシ"ができること〜 | を開催し、約100名が参加しました。

当日は、「NPO 法人ポルターモ | の皆様によるクラシックコンサートにて幕を開けました。

その後、「100万人の GOMI 拾い提唱者」であり、全国の学校・教育機関を中心とした講演、イベント、メディア出演等、様々な活動をされている、小説家の荒川祐二氏が『半ケツとゴミ拾い〜一歩を踏み出す勇気〜』と題した基調講演を行い、参加者を魅了しました。

午後は5つの分科会を実施し、茨城県内を中心に多様な活動をされている方々が、対話型キャリア教育体験、障害疑似体験ワークショップ、鼎談、地域のサロン体験等、特徴あるプログラムで参加者を引き込み、新たな気付き、共感、行動する勇気をもらった参加者の皆さんは、ワタシにできることを思い描いたようでした。

また、県内3つの社会福祉法人施設が、この日のために工夫をこらして作成した「夏のいちおしデザート」の販売を行いました。

安心した地域生活をおくるために、"ワタシ"たちができること、すべきこととは、一人ひとりでも始められることであり、決して難しいことではないのでしょうか。相手を知ること、そして地域を知ることで、より一層、安心した地域生活を送ることができます。

このフェスティバルが、参加者にとっての気付きとなり、地域の助け合い活動を 促進するきっかけの場となるよう、来年度以降も開催していきたいと考えています。





茨城県社協 「大学を行うない」 「大学を

1 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)

日常生活自立支援事業は、平成11年10月から各都道府県社協が実施主体となり実施している事業です。 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な方が、自立した地域生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などを行うサービスです。



○どんな事業なの?

①福祉サービスの利用援助

福祉サービスについての情報提供や利用手続きのお手 伝いなど

②日常的な金銭管理

公共料金の支払いや年金受領の確認 預貯金からの生活費の払い戻しなど

③書類等の預かりサービス

預貯金通帳や年金証書などの大切な書類の預かり

- ※生活保護を受けている方は無料
- ※③書類等の預かりサービスのみの利用はできません。
- ※日常生活自立支援事業では、決められた預貯金通帳の小額の 払い戻し、在宅福祉サービスの契約のみ代理権が認められて おります。



○どんな人が利用できるの?

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、 日常生活において不安を感じる・判断能力が不十分な方 が対象になります。診断や手帳をお持ちでない方も利用 できます。



○利用の際にかかる費用は?

- ・相談、支援計画の作成、利用契約の締結は無料
- ・福祉サービス利用手続き、金銭管理のサービス
 - 1時間あたり 1,100円
- ・通帳や証書などの預かりサービス

1ヶ月あたり 500円

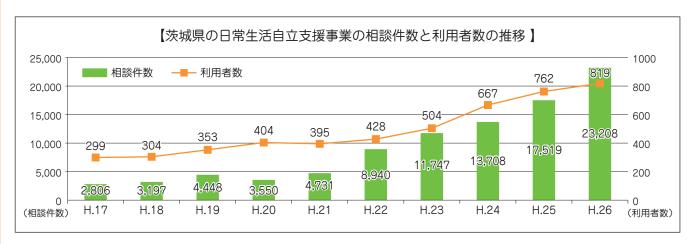
・サービスにかかる専門員等の交通費

実費負担



○どうやったらサービスが利用できるの?

- ステップ① お住まいの市町村社会福祉協議会に相談してください。(相談は本人ではなくても大丈夫です。)
- ステップ② 担当者(市町村社協の専門員)が、困り事・ 心配事を、ご本人やご家族と一緒に考え、 支援計画をつくります。
- ステップ③ ご本人・市町村社協・県社協で利用契約を 結び、サービスが開始されます。





問い合わせ先

茨城県日常生活自立支援センター(茨城県社会福祉協議会内) 電話:029-241-1134(直通) または お住まいの市町村社会福祉協議会

日常生活自立支援事業と成年後見制度との関係

日常生活自立支援事業は、県社協と市町村社協とご本人の三者契約を締結することによって援助を開始しますが、本人の意思が確認できない場合や、本事業の援助の内容だけでは本人に対する十分な援助ができない場合は、成年後見制度を利用できるよう努める必要があります。このため、成年後見制度と本事業とが連携を密にして、両者が相まって機能を果たすことにより、判断能力が十分でない人も地域で安心して生活できるような仕組みとなります。

	判断能力 あり	日常生活を送るのに 不安がある (お金の管理が不安、等)	判断能力が不十分 (通帳をよく失くす等)	判断能力が著しく不十分 (大きな契約は一切 できない、等)	判断能力に 欠ける
日常生活自立		日常生活自立支援事業			
支援事業				 事業と成年後見制度	
小			0113 1170 0 34		
成年後見制度			成	年後見制度	

2 成年後見制度について

「認知症高齢者」「知的障がい者」「精神障がい者」など判断能力が不十分な方が地域生活を送る上で、預貯金や不動産の財産管理や、介護サービスや福祉施設への入所の契約、遺産分割協議等、自分1人では難しいことをお手伝いする制度です。また、悪質商法の被害に遭った場合でも、取り消しすることができる制度です。

茨城県社協は、県民の成年後見制度の理解促進と、日常生活自立支援事業からのスムーズな移行支援のためにも、下

記の事業を展開しています。

①関係機関との連携

法人後見や成年後見制度の利用を支援するセンター(以下「成年後見センター」という。)運営を実施している市町村社協、又は成年後見センター実施を検討している市町村社協との連絡会議の開催や、専門職団体、他県との情報交換等を図っております。

成年後見センター等実施社協における 連絡会議

茨城県内のセンター実施社協(5箇所)、実施予定社協(3箇所)、実施未定の社協(5箇所)で7月に連絡会議を開催しました。茨城県では、第三者後見人より親族後見人が多い状況です。そのためか、まだ、1つの市社協でしか市民後見人の養成がなされておりません。市民後見人の考え方や養成については、茨城県での形をみつけ、成年後見制度を支える仲間を増やしていく必要があり、県社協としても関係者との連携のもと市民後見人養成等についても検討していきます。

②県民への啓発

講演会や研修会を開催し、成年後見制度の理解を 深めてもらう機会をつくります。

高齢者・障がい者のための成年後見相談会のお知らせ

成年後見の専門家である 司法書士・社会福祉士による 成年後見に関する無料相談会

主催:茨城司法書士会,(公社)成年後見センター・リーガルサポート茨城支部,茨城県社会福祉士会成年後見センター「ぱあとなあいばらき」,茨城県社会福祉協議会

日時:平成27年10月24日出 10:00~15:00

会場:下記6会場で同時開催。

水戸会場	水戸市五軒町 1-3-16 茨城司法書士会館
日立会場	日立市幸町 1-21-1 日立シビックセンター 102 号室
鹿嶋会場	鹿嶋市大字宮中 4631-1 鹿嶋市まちづくり市民センター学習室 1 ~ 3
つくば会場	つくば市小野崎字千駄苅 278-1 LALA ガーデンつくば1階 コミュニティルーム
龍ケ崎会場	龍ケ崎市 4264-1 市街地活力センターまいん 2 階
古河会場	古河市長谷町 38-18 スペース U 古河 会議室 2

相談内容:成年後見,遺言,相続等

面談による相談(要予約)

予約電話:029-302-3166

成年後見センター・リーガルサポート茨城支部へ 10/23(金)までに電話で予約してください。

~どなたでも相談可能です。お気軽にお申し込みください!~

茨城県社協 研修・就職情報

「福祉の魅力発見ツアー」を開催しました! ~8月6·7·18·19日~

昨年度に引き続き、「福祉の魅力発見ツアー」を開催しました。このツアーは、これからの社会を担う子どもたちを対象に、福祉・介護の仕事の魅力やおもしろさについて知ってもらい、ひとりでも多くの子どもたちが、将来福祉の職場で活躍してくれることを願って実施したものです。

「県南コース」と「県央コース」2つのコースを用意し、合計4日間行いました。両コースとも福祉施設見学のほか、福祉に関連した体験を行い、4日間合計で145名の親子が参加してくれました。

県南コースでは、サイバーダインスタジオ見学とロボットスーツハル®の体験を、県央コースではクッキング体験行いました。





クッキング体験では「みんながおいしく食べるには」をテーマに、高齢者の方をはじめ、みんなが食べやすい食事のメニューや調理方法を先生から教えてもらい、約1時間30分をかけて実際に調理しました。子どもたちは真剣にサバの骨抜きをしたり、きゅうりの蛇腹切りを行っており、親子・グループで協力しながら調理する様子はとても印象的でした。

福祉施設見学では、施設内の見学のほか、利用者の方との交流として、利用者の方が夏祭りに向けて練習しているという踊りを一緒に踊ったり、音楽から良い刺激を得ることを目的としたミュージックケアに参加させていただきました。この交流や利用者の方とお話ができたことが、とても印象に残ったとの感想も多く聞かれました。

今回のツアーをきっかけに、少しでも福祉・介護の仕事について興味・関心をもってもらえたと思います。

福祉の職場説明会 ~就職ガイダンス開催~

8月8日(土)常磐大学のオープンキャンパス開催に合わせ、福祉の職場説明会 就職ガイダンスを行いました。 午前10時からキャリア支援センター内において「福祉人材センターサテライト」を設置し、希望者に対しキャリア支援専門員が就職相談に応じました。

また、午後からは会場を Q 棟センターホールに移し、「こども・おとしより・ちいきの笑顔をつくる専門職の役割」と題したシンポジウムを開催しました。

コーディネーターの池田幸也教授 (同大学コミュニ

ティ振興学部長)の進 行の下、同大学コュュ ニティ振興学部ヒュー マンサービス学科の卒 業生3名(齋藤雄太氏、 大関里佳氏、齊藤美裕 紀氏)のシンポジスト を迎え、同大学の同学 科へ進学し福祉分野を



志した動機、高校・大学時代に取り組んだ サークル活動や社会福祉士等の資格取得に ついて、また、福祉分野への就職活動やそ の後の転職も含めたキャリアビジョンにつ いて、それぞれの経験をお話いただきまし た。

会場からは、国家資格取得の必要性等多数の質問が寄せられ、一つ一つの質問に対してシンポジストが丁寧に回答し、終了後も気軽に来場者と語らう場面も見られました。



茨城県内で開催される福祉に関する研修・就職情報をご紹介します!

職場体験事業のご案内 〜介護のお仕事体験してみませんか〜

介護の仕事や福祉の職場にどんなイメージをお持ちですか?「大変そう」「自分には無理かな?」と不安に思われている方も多いと思います。そんな時は、思い切って一度体験してみてください。

イメージが変わるかもしれませんよ!

参加対象	◇福祉・介護の仕事に興味・関心のある方◇茨城県内の福祉施設・事業所に就職を希望している方	
条件	◇資格・経験等不問 ◇参加費無料	
期間	◇ 1 人あたり 10 日以内 ◇ 1 回利用可	
申込先 問合せ	茨城県福祉人材センター(茨城県社会福祉協議会内) 電話: 029-244-4544	

茨城発 求職者支援強化事業

ふれあって くらしをささえる しあわせな 職業 どう?

「ふくし職働」のご案内

「ふくし職働」では、福祉の仕事を希望する方、福祉 の仕事を続けていこうとする方のお手伝いとして、各種 講座の実施や自由に話せる場を開設しています。

主 な 内 容 (おしながき)	○福祉の仕事/資格の相談○暮れ六つ講座(隔週火曜日夜間)○夕暮れしゃべり場(隔週水曜日)○木になる講座(毎月第4木曜日)○おひさま講座(月1~2回金曜日)	
参加対象	○福祉の職場に就職を希望する方 ○福祉の職場に関心のある学生の方 ○福祉の仕事に関心のある方	
参 加 費	無料	
開催日程	ホームページをご覧ください。 http://www.ibaraki-welfare.or.jp/	
開催場所	茨城県総合福祉会館2階 茨城県福祉人材センター内「ふくし職働」	
申込方法	受講申込書に必要事項を記入の上郵送・ FAX にて各講座開催日2日前までにお 申し込みください。(電話申込可)	
申込み・問合せ先	茨城県福祉人材センター 029-244-4544	

キャリアパス導入セミナー開催

高齢者福祉施設・事業所においてのキャリアに関する 道筋を明確にする「キャリアパス制度」の導入に向けた セミナーを開催します。

対	象	県内の高齢者福祉施設・事業所の代表者・管 理者や人事関係職員
定	員	40 名程度
日	程	11 月下旬から 12 月中旬にかけて 2 日間 (予定)
内	容	○キャリアパスの意義と目的○人事評価制度の作り方と運用について○給与制度の設計と運用について など
問合	させ	茨城県福祉人材センター(茨城県社会福祉協議会内) 電話: 029-244-4544

ホームページ http://www.ibaraki-welfare.or.jp/でもご案内いたします。

子育て支援員研修がはじまります!

この研修は、基本研修・専門研修から構成されており、 専門研修の受講は基本研修の修了が条件となります。

対 象	子育て支援分野に従事することを希望する方	
日 程	11 月下旬~平成 28 年 3 月(予定)	
申込締切	10 月下旬	
基本研修	8科目8時間(2日間)	
専門研修	 ○放課後児童コース 6科目9時間(2日間) ○地域保育コース共通	
問合せ	茨城県子育て人材支援センター (茨城県社会福祉協議会内) 電話: 029-301-0294	

ホームページ http://www.ibaraki-welfare.or.jp/でもご案内いたします。





NPO法人里山を守る会

第6回 里山キャンプ 自然体験で子どもたちに新たな心

子どもたちに昔ながらの自然体験を

筑西市を拠点に、里山を利用した子どもたちの自然 体験に力を入れている「NPO 法人 里山を守る会」。活 動のきっかけは、平成9年、神戸市須磨区で起きた少 年による連続殺傷事件だったと、代表の中川行夫さん は語ります。

「この事件の背景を考えていくうちに、『今の子ども たちを取り巻く環境が激変してしまったのも一因では ないか』という結論に至ったのです」(中川さん)

自身の幼少時代を振り返ってみると、毎日のように 友達と外で遊んでいましたが、いまの子どもたちには そうした自然体験が喪失してしまったと強く感じたそ うです。そこで、子どもたちを自然の中に呼び戻し、 同級生や異年齢の友達と思い切り遊ばせようと考えた といいます。

「参考にしたのは、東京都世田谷の『プレーパーク』。 視察に行くと、子どもたちが公園のなかで自由に遊び 回り、まるで都会の野生児を見たという思いがしたそ うです。「このような場を筑西の地に是非作ろうと思っ たのです | (中川さん)

かつて遊んでいた「五郎助山」

まず、場所探しには、中川さんたちが子ども時代遊 んでいた雑木林の「五郎(ごろ)助山(すけやま)」が 候補に挙がりました。しかし、いざ現地に足を運ぶと、 そこにはもう昔の面影はなく、一面やぶで覆われ、ご み捨て場と化していました。そこで、地主さんをはじめ、 筑西市や教育委員会からの協力を得て、有志の団体で 里山を開墾することからはじめました。

スタッフと協力しながら、テント張りも生徒自らが行います。

平成11年にスタートし た里山開墾。翌年に立ち 上げたのが、『里山を守 る会』です。里山の整 備が一段落し、自然体 験の話を地元小学校に 持ち込むと、当初、子 どもの安全を心配した のか色よい返事がい ただけなかったそう です。それでも勇気



ある先生がついに子どもたちを引き連 れ、五郎助山に来訪。

自然の中で呼び起こされる本能

ところが予期せぬ状況が起こりました。子どもたち に『ここで自由に遊んでいいよ!』と声をかけても、「ぽ かん」とするばかりで、なにをしていいのかわからな いといった有様だったそうです。今まで山で遊んだ経 験のない子供たちに突然「遊べ」と言っても無理なこ とだとほどなく気づき、会員自ら、木登りをはじめと して、山での遊び方、池に生息する魚の捕まえ方を教 えると、次第に子どもたち自身で遊びを見つけていく ようになったそうです。「おそらく里山という環境下で、 好奇心や冒険心など、子どもたちの中で眠っていた本 能が呼び起こされるのでしょう」(中川さん)

現在、里山を守る会では、この五郎助山を活用して、 植物観賞会やホタル観賞会、また、自然体験学習、里 山フェスティバルや野鳥観察会など、さまざまな自然





トンボ池では釣りを行う生徒も。



この日のメニューはカレー。みんなで野菜の下ごしらえ。



-2014 里山キャンプでツリークライミングを 行う子どもたち。



昨年行われた里山フェスティバルの様子。

体験を行っています。今回、取材に伺った里山キャンプもそうした活動のひとつ。これは、関城東小学校と関城西小学校の $4\sim6$ 年生の児童を対象に、里山内でテントを設営し、1 泊 2 日の自然体験を行うイベントです。

「第6回目の今年は、男女合わせて61名が参加し、テント張りから、火おこし体験、カレーライス作り、キャンプファイヤーなどのイベントを実施しました。なかでも注目は里山名人。これは小学校4~6年生の3年間、毎年里山キャンプに参加した生徒が得られる称号です。この生徒が中学生となり、後輩の小学生に里山キャンプで指導を行います」(中川さん)

学校とは違った顔を見せる子どもたち

そして、地元小学校の先生方からも、こうした自然 体験が「心の教育」の視点からとても重要であると評 価する言葉もいただいているといいます。

「先生方からは、『里山では、子どもたちが教室でみせる顔とは違った一面がみられるため、より一層生徒を深く知ることが出来ます。』というお言葉を頂いています」(中川さん)

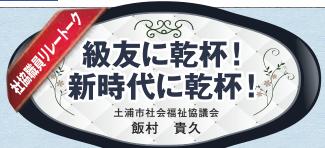
実際にキャンプに参加した子どもたちをみていると、 田んぼに水を引いたトンボ池で、フナ、コイ、などの 魚釣りを楽しみ、ターザンロープで林の中を滑空し、 はち切れんばかりの笑顔で友達と遊んでいる様子に感 動しました。

最後に中川さんは今後の活動について次のように語ります。

「幼少時代の自然体験は、時が経っても楽しい思い出としてしっかり心に刻まれると思います。今後は、 里山を守る会の後継者はもちろん、ほかの団体や企業 とも連携を図り、この活動を次の世代につなげていき たいですね」(中川さん)

いまでは、どこか昔懐かしくなってしまった子ども たちの自然体験。そうした本来あるべき子どもたちの 姿が垣間見られた一日でした。





せっかく県内全域に配られる広報誌なので、まず、土浦市の時の話題を含め、街を紹介させていただきます。

今、土浦では、50年ぶりに街なかに市役所が移転する 準備が急ピッチで進み、来る9月24日には、土浦社協 のある「ウララ2」の隣で、駅ビルとデッキで繋がる「ウ ララ」に新庁舎が開庁いたします。また、その後、消防 庁舎・市営斎場などの公共施設がリニューアルとなるほ か、29年度には、駅北地区に新たな交流拠点として、新 図書館の整備が予定されるなど、街の姿が大きく変わり つつあります。

また、知る人ぞ知る名所、霞ヶ浦総合公園のオランダ型風車や光の輪の向こうにのオブジェ、筑波山系の朝日展望公園から見る夜景はデートスポットに最適です!是非、皆さんご来場ください。

さて、土浦の紹介はこれくらいにして、本論について お話ししたいと思います。

先日、学生時代の同窓会が10年ぶりにありました。

本宴前に、まずは、普段付き合いの友を 0 次会として徴集し、勢いをつけ会合に参加しました。いよいよ本番、「おーしばらく」の声が響くなか、級友たちとの再会談義と飲み明かしに浸かり、色々な仕事につくなかでの級友の成長を見せられ、久しぶりの再会の時間を楽しむことができました。

現在、地域や職場のなかででもコミュニティの希薄化などが課題となっておりますが、級友と心を開いて過ごした時間は、まさに、今の時代に欠けているものを補ってくれるものであり、「心の絆」の大切さを強く感じた一日でした。

これからも、社協人としての責務を全うするうえで、 今回、級友との再会からいただいたパワーを生かし、微力ながらも県内社協の皆様と一緒に「明るい地域社会創りとともに住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていけるまちづくり」のため、

頑張って いきたい と思って おります。



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

補償金額(保険金額)

678.24	en .	. 29×	Aブラン	Bブラン
	死亡保険金		1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,200万円	1,800万円
	入院保険会日額		6,500g	10,000円
770	手術 保険金	入院中の手盾	65,000 _円	100,000円
i		外来の手術	32,500円	50,000FJ
ы	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償		上記後清等高。 各組質金額(保	入院、通院の 職会艦)に同じ
	群祭(費用保険金	300万円	South Property of the agreement
		責任保険金 ・対略共通)	5億円 (開度期)	5億円 (限度期)

年間保険料

517 777	Aブラン	Bブラン
基本タイプ	300A	450m
天災タイプ(E) (第45/プ・2種 歌・2位)	430 _円	650 _A

平成27年度

全国200万人

http://www.fukushihoken.co.ip

ふくしの保険



(※) 実契タイプでは、実実 (地震・噴火・ 津波) に記述する極保線者自身の か方を機構にしますが、助理責任の 機構については、 場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(任进旅游保险,招卖責任保険,长江省行費用保险

并通信等依据。国内部行案者依据特的代替男保険、的教委任任体

CHARREN

DHOUNDING A

● お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

团体契约者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

(引受料車(Shinkel) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 TEL: 03 (3593) 6824

#式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区職が開3丁目3番2号 新聞が開ビル17F TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763 受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この情報は、全国社会環境保護会が研察保険会社と一批して神経する団体契約です。



IFORMATION

開催 茨城県社会福祉大会が 開催されます。

みなさまのご参加をお待ちしておりま す。



■日時:11月17日(火)12時20分開会

■会場:土浦市民会館大ホール (土浦市真鍋2-6)

■内容

○アトラクション

県立土浦第二高等学校合唱部

○記念講演

「困難を乗り越え強く生きる」 車椅子の熱風講師 濱宮郷詞 氏

○社会福祉功労者表彰

👸 総務企画部

電話: 029-241-1133代)

10月~11月 サロンコンサート開催

10月~11月の予定は以下のとおりで す。ぜひご来館ください!

■日時:10月1日(木)・11月20日(金)

11月27日(金)

各日12時10分から13時まで

■会場:茨城県総合福祉会館1階県民サロン

■内容

10月1日 大正琴(出演:柴田音楽教室) 11月20日

女声合唱団 (出演:ハーモニーの会) 11月27日 ギター演奏

> (出演:茨城町ギターク・ マルバギター同好会)

間 茨城県総合福祉会館事務室 電話: 029-244-4545



元気シニアバンクを 5世 ご利用ください!

県社協では、高齢者の皆さんが長年培っ てきた知識や経験、特技などの得意分野 を生かしてボランティア活動を望む方を 登録し、その力を借りたい地域の皆さん とを結びつける「元気シニアバンク」を 開設しています。

当バンクでは、自治会や子ども会、高 齢者施設、保・幼・小中学校のイベント・

講演会など、講師や実演を求める団体等 に、登録者(茨城シニアマスター)の紹 介を行っています。



写真:茨城シニアマスター

「双葉すみれ会」銭太鼓の演技

■ご利用方法

茨城シニアマスター紹介申込書により、 茨城わくわくセンターにお申し込みくだ さい。(申込書は、県社協ホームページ「元 気シニアバンク」からダウンロードでき ます。

■費用

原則、無償です。(交通費・材料費をご 負担いただく場合があります。)

問 茨城わくわくセンター

電話: 029-243-8989 FAX: 029-244-4652

☆元気シニアバンクには、健康・スポーツ、 文化・芸術、趣味・教養など多種多彩 な分野の方が沢山登録されています。 ☆茨城シニアマスターの新規登録も随時

受け付けています。

「新設福祉施設のご紹介」平成27年5月1日~7月31日までの開設

特別養護老人ホーム

●特別養護老人ホーム ルミエ・デ・ソレイユ 社会福祉法人 真民会

定員/50名 ユニット型 〒311-3413

小美玉市山野707-13 電話: 0299-56-5588 ●特別養護老人ホーム サテライトさわの森 社会福祉法人森田記念会

定員/29名 ユニット型 〒312-0058

ひたちなか市西光地3-16-4 電話:029-229-3036

●特別養護老人ホーム はなのえんサテライトみちのえん 社会福祉法人 西北会

定員/29名 ユニット型 〒300-0002

土浦市粟野町1829-4 電話: 029-893-6061

●特別養護老人ホーム 滝の園別館ねもとの里 社会福祉法人 欣水会

定員/29名 ユニット型 〒300-0805

土浦市宍塚1935 電話: 029-826-1110

活がい回

茨城県総合福祉会館では、広く県民の皆様に気軽にご利用いただけるよう、県 民サロンを利用したサロンコンサートの開催や、ギャラリーでの展示会をはじ め、コミュニティホール(定員 296 名)・多目的ホール・研修室の貸出しを行っ ています。各種講習会や研修・会議等にご利用ください。



〒310-0851 水戸市千波町1918 TEL 029-244-4545 FAX 029-244-4548



わかち合おう小さな善意 ~みなさまからのあたたかいご支援を紹介します~

平成27年5月~平成27年7月 善意金等の預託と払い出し状況(敬称略)

交通遺児福祉基金

預託者名	金額 (円)
(一財)関東陸運振興センター	1,000,000
合 計	1,000,000



善意金

預託者名	金額(円)
(公社)茨城県看護協会	1,500,000
茨城県遊技業防犯協力会	1,000,000
(公社) 生命保険ファイナンシャルアドバイ ザー協会 茨城県協会	99,923
匿名	500
合 計	2,600,423

善意品

預託者名	善善善善	払出先名
関彰商事株式会社	普通乗用車 1台	県社協
常陽ボランティア倶楽部	ワゴン車 1台 折りたたみ式リヤカー 1台	県社協
日産プリンス茨城販売㈱	車いす 10 台	県内社会福祉施設
いばらきコープ生活協同組合	ベビー用紙おむつ 156 袋	さくらの森乳児院
(株)ジャパンゲートウェイ	洗濯用洗剤 514 箱	県内社会福祉施設 NPO法人フードバンク茨城・県社協
リスカ(株)	うまい輪めんたい 2箱 うまい輪チーズ 2箱 うまいしっとりチョコ 2箱	県社協
小美玉市社会福祉協議会	中古鍵盤ハーモニカ	NPO法人 NGO 未来の子どもネットワーク



関彰商事株式会社 様



常陽ボランティア倶楽部 様



日産プリンス茨城販売㈱ 様

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名

富士ゼロックス茨城㈱/㈱三共建設/茨城県県南県民センター/ NPO 法人 茨城県ケアマネージャー協会/茨城県児童館連絡 協議会/茨城県立健康プラザ/髙栁美幸・髙栁真美・眞子 勉/泉 秀雄/永田晴子/茨城県庁内郵便局/茨城県(保健福祉部・ 障害福祉課、子ども家庭課、長寿福祉課)/社会福祉協議会(石岡市、つくば市、常陸太田市、土浦市、ひたちなか市、神栖市、 小美玉市、取手市、龍ケ崎市、日立市、水戸市、稲敷市、笠間市、古河市)

いばらきの社会 Social Welfare of Ibaraki

発行者/

社会福祉法人

茨城県社会福祉協議会

E-mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp

〒310-8586 水戸市千波町1918 TEL.029(241)1133(代) FAX.029(241)1434 HP http://www.ibaraki-welfare.or.jp/ Facebook https://www.facebook.com/ibarakikenshakyo



簡単に「茨城県社協HP」に アクセスできます





| PRINTED WITH | SOY INK | 環境に配慮して再生紙と大豆油インキを使用しています